

# 結 果 の 概 要

## 1 推計患者数

調査日に全国の医療施設で受療した推計患者数は、「入院」1,318.8千人、「外来」7,238.4千人である。

### (1) 施設の種類の性別・年齢階級別

「入院」1,318.8千人について、施設の種類の別みると「病院」1,273.0千人、「一般診療所」45.8千人、性別にみると「男」603.8千人、「女」715.1千人、年齢階級別にみると「65歳以上」937.3千人、「75歳以上」669.4千人となっている。

「外来」7,238.4千人について、施設の種類の別みると「病院」1,641.9千人、「一般診療所」4,233.0千人、「歯科診療所」1,363.4千人、性別にみると「男」3,131.0千人、「女」4,107.3千人、年齢階級別にみると「65歳以上」3,510.2千人、「75歳以上」1,895.1千人となっている。（表1、統計表1）

表1 年齢階級別にみた施設の種類の推計患者数

(単位：千人)

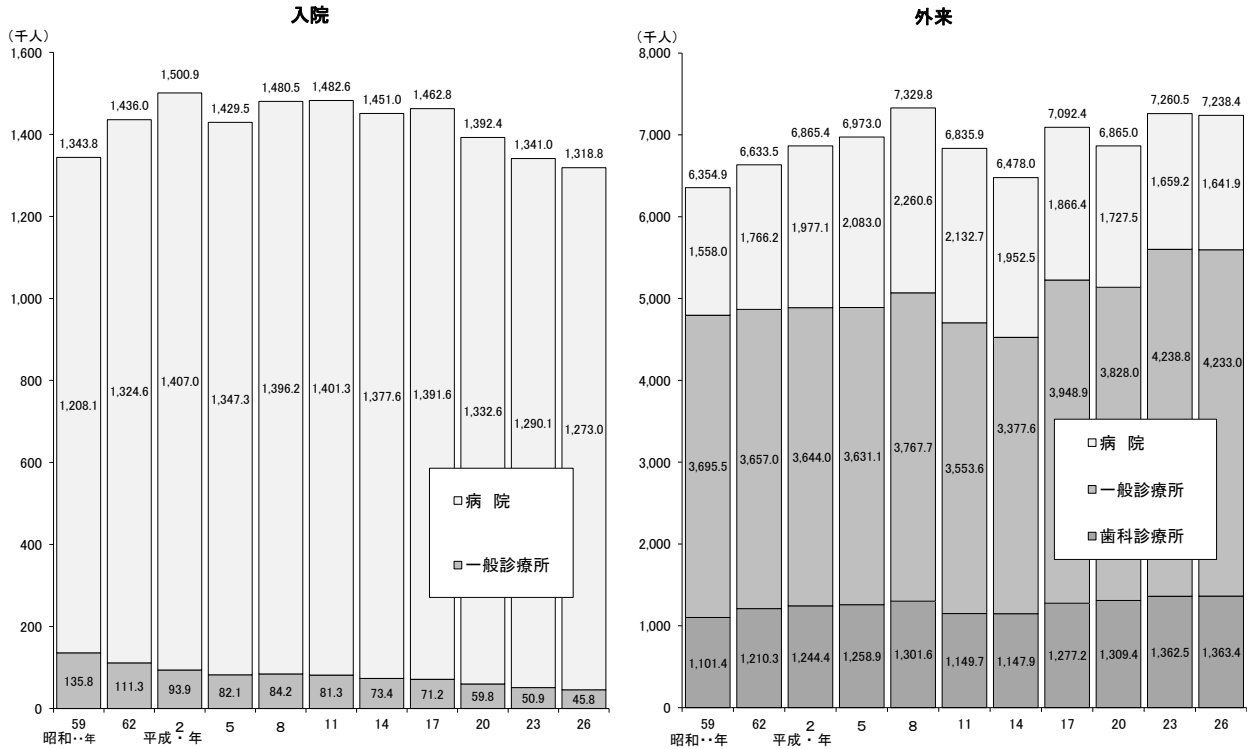
平成26年10月

性 年齢階級	入 院			外 来			
	総 数	病 院	一 般 診 療 所	総 数	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所
総 数	1 318.8	1 273.0	45.8	7 238.4	1 641.9	4 233.0	1 363.4
男	603.8	589.6	14.2	3 131.0	769.1	1 761.1	600.8
女	715.1	683.4	31.7	4 107.3	872.8	2 471.9	762.6
0 歳	10.8	10.4	0.4	68.3	12.6	55.6	0.0
1 ~ 4	7.1	7.1	0.1	284.3	34.3	232.2	17.7
5 ~ 9	4.9	4.9	0.0	234.7	25.6	157.1	52.0
10 ~ 14	5.3	5.2	0.0	151.3	20.7	99.0	31.6
15 ~ 19	7.0	6.8	0.2	116.3	19.3	72.3	24.7
20 ~ 24	10.2	9.5	0.7	138.9	23.8	81.0	34.1
25 ~ 29	16.1	14.3	1.8	181.4	34.8	105.7	40.9
30 ~ 34	22.1	20.0	2.1	230.4	46.0	128.7	55.6
35 ~ 39	26.3	24.8	1.5	284.4	58.8	156.7	68.9
40 ~ 44	32.3	31.8	0.6	331.2	72.1	180.8	78.3
45 ~ 49	36.8	36.2	0.6	329.5	74.8	173.3	81.3
50 ~ 54	46.0	45.3	0.7	363.4	84.1	191.7	87.6
55 ~ 59	59.1	58.2	1.0	410.3	100.8	213.6	96.0
60 ~ 64	95.6	94.1	1.5	585.0	146.2	306.7	132.1
65 ~ 69	123.6	121.0	2.6	760.6	190.6	409.3	160.7
70 ~ 74	144.3	141.1	3.2	854.5	213.0	485.2	156.3
75 ~ 79	165.2	160.5	4.7	777.2	197.9	463.8	115.4
80 ~ 84	188.9	181.9	7.0	613.8	158.1	381.6	74.1
85 ~ 89	170.9	162.3	8.6	348.3	86.9	225.8	35.7
90歳以上	144.4	136.1	8.4	155.8	38.7	101.8	15.3
不 詳	1.9	1.7	0.2	18.9	2.8	11.1	5.1
(再 掲)							
65歳以上	937.3	902.8	34.5	3 510.2	885.3	2 067.5	557.4
75歳以上	669.4	640.7	28.7	1 895.1	481.6	1 173.0	240.5

推計患者数の年次推移をみると、入院では平成 20 年から減少しており、外来では平成 17 年からほぼ横ばいとなっている（図 1、統計表 1）。

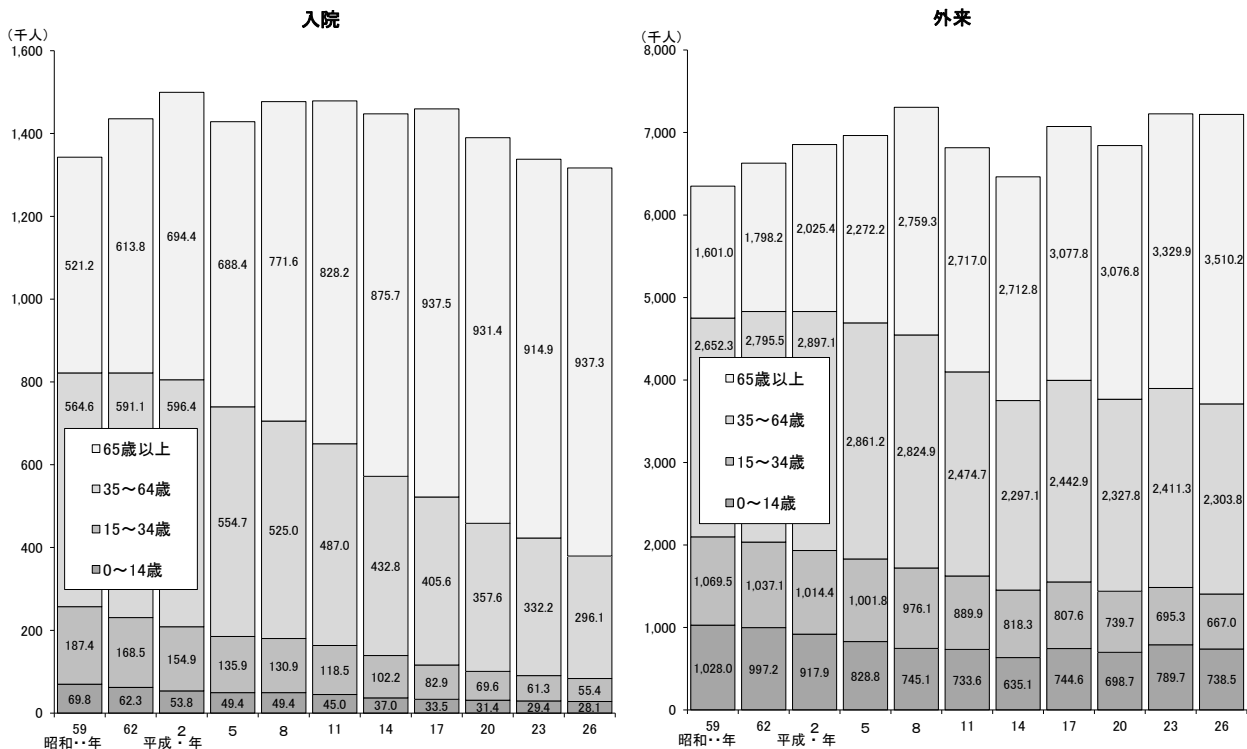
年齢階級別にみると、入院では「0～14 歳」「15～34 歳」「35～64 歳」は減少傾向、「65 歳以上」は増加傾向となっており、外来では「65 歳以上」は増加傾向となっている（図 2、統計表 1）。

図 1 施設の種類の別みた推計患者数の年次推移



注：平成 23 年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

図 2 年齢階級別にみた推計患者数の年次推移



注：平成 23 年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(2) 傷病分類別

入院患者を傷病分類別にみると、多い順に「V 精神及び行動の障害」265.5千人、「IX 循環器系の疾患」240.1千人、「II 新生物」144.9千人となっている。

外来患者では、多い順に「XI 消化器系の疾患」1,310.0千人、「IX 循環器系の疾患」933.0千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」877.8千人となっている。(表2、統計表2、3)

表2 傷病分類別にみた施設の種別推計患者数

(単位：千人)

平成26年10月

傷病分類	入院			外来			
	総数	病院	一般診療所	総数	病院	一般診療所	歯科診療所
総数	1 318.8	1 273.0	45.8	7 238.4	1 641.9	4 233.0	1 363.4
I 感染症及び寄生虫症	20.7	20.3	0.4	173.3	41.7	131.6	-
結核 (再掲)	3.4	3.4	0.0	1.7	1.5	0.2	-
ウイルス肝炎 (再掲)	1.4	1.3	0.1	28.3	14.0	14.3	-
II 新生物	144.9	143.2	1.7	231.6	187.3	44.3	-
悪性新生物 (再掲)	129.4	127.9	1.5	171.4	146.5	24.8	-
胃の悪性新生物 (再掲)	13.5	13.4	0.2	19.2	14.9	4.3	-
結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	18.9	18.7	0.3	28.0	22.9	5.1	-
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	6.9	6.8	0.1	5.5	4.5	1.0	-
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	18.8	18.7	0.1	16.1	14.3	1.8	-
乳房の悪性新生物 (再掲)	5.4	5.3	0.1	24.3	21.5	2.8	-
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6.3	6.1	0.2	21.6	10.4	11.2	-
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	33.0	31.6	1.3	437.0	131.9	305.1	-
糖尿病 (再掲)	20.9	20.0	1.0	222.3	77.6	144.7	-
高脂血症 (再掲)	0.3	0.2	0.1	143.7	21.7	122.1	-
V 精神及び行動の障害	265.5	264.3	1.3	257.7	110.9	146.9	-
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	29.8	29.3	0.5	11.9	3.6	8.3	-
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	165.8	165.6	0.1	69.7	44.7	25.0	-
気分[感情]障害(躁うつ病を含む) (再掲)	28.8	28.4	0.4	83.4	27.3	56.1	-
VI 神経系の疾患	122.2	119.5	2.7	173.0	69.3	103.7	-
アルツハイマー病 (再掲)	47.0	45.8	1.2	45.1	14.1	30.9	-
VII 眼及び付属器の疾患	11.5	10.2	1.3	337.9	56.9	280.9	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2.5	2.4	0.1	100.5	15.2	85.3	-
IX 循環器系の疾患	240.1	230.4	9.7	933.0	236.3	696.7	-
高血圧性疾患 (再掲)	6.4	4.8	1.6	671.4	104.6	566.8	-
心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	59.9	57.4	2.5	133.9	68.2	65.7	-
脳血管疾患 (再掲)	159.4	154.9	4.6	94.0	44.7	49.2	-
X 呼吸器系の疾患	90.7	88.1	2.6	668.4	91.6	576.8	-
肺炎 (再掲)	34.6	33.3	1.3	8.2	3.9	4.3	-
慢性閉塞性肺疾患 (再掲)	7.9	7.6	0.4	22.0	8.8	13.3	-
喘息 (再掲)	3.8	3.6	0.2	127.6	23.7	103.9	-
XI 消化器系の疾患	65.9	63.9	2.0	1 310.0	115.9	174.4	1 019.6
う蝕 (再掲)	0.1	0.1	0.0	283.6	3.4	3.3	276.8
歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	0.2	0.2	-	444.7	9.5	7.1	428.2
肝疾患 (再掲)	8.0	7.7	0.3	32.6	12.1	20.5	-
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	10.9	10.5	0.4	286.9	47.7	239.3	-
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	69.9	64.4	5.5	877.8	180.6	697.2	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	46.9	44.0	2.9	283.1	112.6	170.5	-
慢性腎不全 (再掲)	24.1	21.7	2.4	107.3	47.2	60.1	-
XV 妊娠、分娩及び産じょく	18.4	14.2	4.3	14.5	6.7	7.8	-
XVI 周産期に発生した病態	6.7	6.4	0.3	2.9	2.4	0.5	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.8	5.7	0.0	14.3	9.0	5.3	-
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16.0	15.0	1.0	76.9	38.2	38.7	-
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	131.3	124.5	6.8	306.5	102.5	201.2	2.7
骨折 (再掲)	91.4	86.4	5.0	92.0	39.9	52.1	-
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9.7	8.3	1.3	731.7	74.9	315.8	341.1

### (3) 在宅医療の状況

調査日に在宅医療を受けた推計外来患者数は156.4千人であり、これを施設の種別別にみると、「病院」14.4千人、「一般診療所」101.5千人、「歯科診療所」40.6千人となっている。

在宅医療の種別別にみると、総数では「往診」34.0千人、「訪問診療」114.8千人、「医師・歯科医師以外の訪問」7.6千人となっている。(表3)

年次推移をみると、在宅医療を受けた推計外来患者数は平成17年までほぼ横ばいであったが、平成20年からは増加している(図3)。

表3 年齢階級別にみた在宅医療を受けた推計外来患者数

(単位：千人) 平成26年10月

年齢階級	推計外来患者数総	(総数)				(病院)				(一般診療所)				(歯科診療所)		
		在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師以外の訪問	在宅医療	訪問診療	歯科医師以外の訪問
総数	7 238.4	156.4	34.0	114.8	7.6	14.4	4.4	7.2	2.8	101.5	29.6	69.1	2.7	40.6	38.5	2.1
0～14歳	738.5	0.4	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1	-
15～34	667.0	3.3	0.6	2.5	0.2	0.3	0.2	0.0	0.1	0.8	0.4	0.3	0.1	2.2	2.2	-
35～64	2 303.8	15.3	3.7	9.8	1.8	2.4	0.7	0.5	1.2	6.0	2.9	2.5	0.6	6.8	6.8	0.1
65歳以上(再掲)	3 510.2	137.1	29.3	102.2	5.5	11.5	3.5	6.6	1.4	94.0	25.9	66.1	2.0	31.5	29.5	2.0
75歳以上	1 895.1	121.5	26.2	90.7	4.6	9.8	2.9	6.0	0.9	84.8	23.3	59.6	1.8	26.9	25.0	1.9

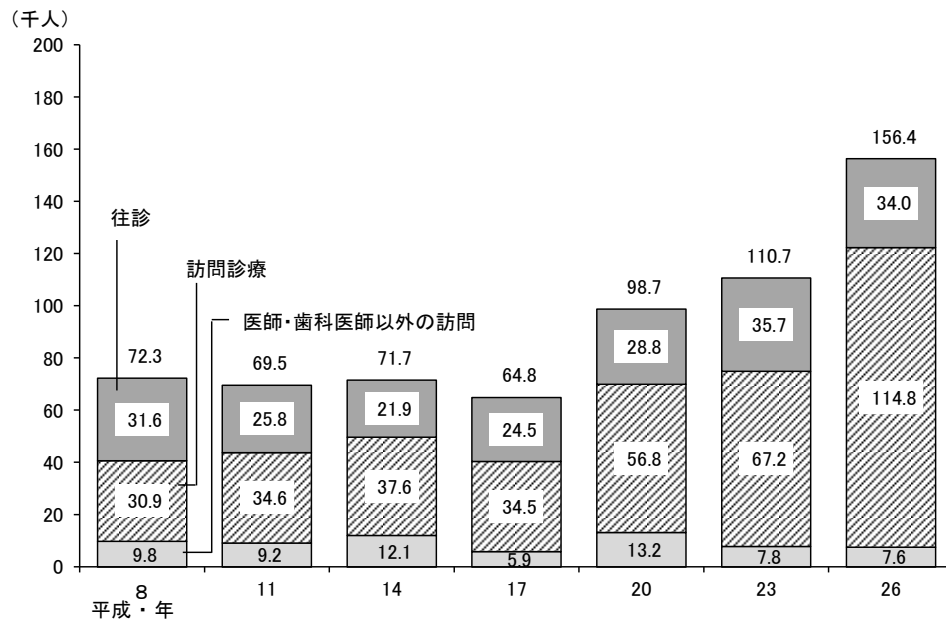
注：1) 総数には、年齢不詳を含む。

2) 「往診」とは、患者(介護老人保健施設等を含む。以下同じ。)の求めに応じて患者に赴いて診療するものをいう。

3) 「訪問診療」とは、医科においては、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師が訪問して診療を行うものをいい、歯科においては、歯科医師が患者に赴いて診療を行うものをいう。

4) 「医師・歯科医師以外の訪問」、「医師以外の訪問」及び「歯科医師以外の訪問」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に当該職種以外の者が訪問して実施されるものをいう。

図3 在宅医療を受けた推計外来患者数の年次推移

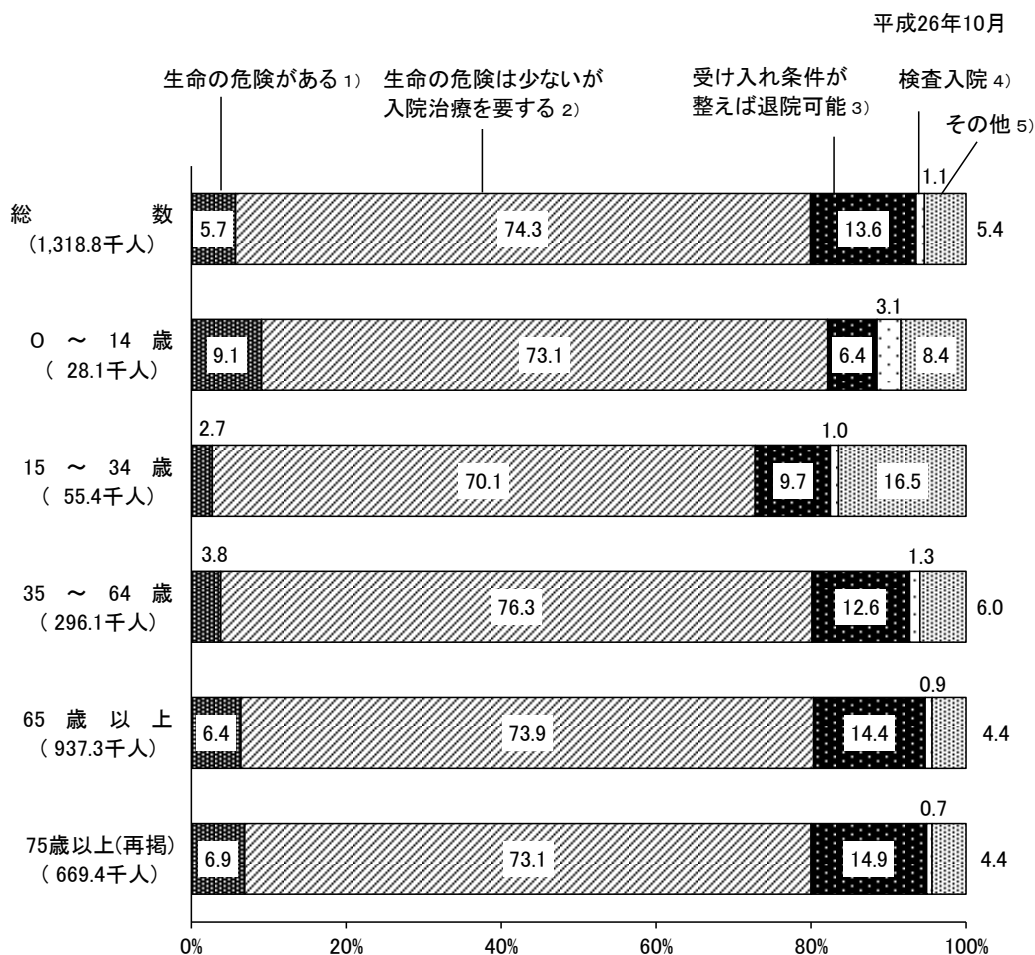


注：平成23年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

#### (4) 入院（重症度等）の状況

入院（重症度等）の状況を見ると、「生命の危険がある」5.7%、「生命の危険は少ないが入院治療を要する」74.3%、「受け入れ条件が整えば退院可能」13.6%、「検査入院」1.1%となっている。「受け入れ条件が整えば退院可能」は年齢階級が上がるに従い高くなっている。（図4）

図4 年齢階級別にみた入院（重症度等）の状況別推計入院患者数の構成割合



- 注：1) 「生命の危険がある」とは、生命の危険がある重篤な患者をいう。  
 2) 「生命の危険は少ないが入院治療を要する」には、退院が決定している患者を含む。  
 3) 「受け入れ条件が整えば退院可能」とは、退院は決まっていないが退院可能な状態にある患者をいう。  
 4) 「検査入院」とは、検査のために入院した患者をいい、健康な者に対する一般的検査のための入院患者を含む。  
 5) 「その他」とは、上記1)～4)以外の入院患者をいう。  
 6) ( )内は、推計入院患者数である。